



展示していて、私たちが作る「明日の門」は、その最後の部屋に展示します。「明日の門」は鑑賞者がぐくり抜けることで完成します。歴史をタイムワープし、外の世界へ出て行って、大分の街なかにある朝倉彫刻と再会する。時代によって朝倉彫刻の価値観はどんどん変わっていききました。「明日の門」は、そんな価値が変わっていくものの象徴として表せないかなと。

**阿部** 英雄の象徴だった軍人像が、戦後には悪しき象徴となり、排除された。そうあるべきだった概念が揺らぎ、明日には違うものとなる。今私たちが見ている現代も移ろいの世界にあり、絶対的な価値と



いうものは存在していません。門から出た人たちがこれからの時代を作っていくのは、今回は自分たちの作品制作だけでなく、展覧会全体の立ち上げから皆で取り組んでいます。作品を作るだけでなく、チームで展覧会を作るといった機会をもらえて、とても楽しいですね。

**塩塚** 会場デザインを依頼されて思ったのは、彫刻展なので、まずは彫刻を置く台座を考えないといけないなと思いました。朝倉作品に、さらに別のデザインが入ってくると鑑賞には良くないので、極力デザインしない方法がないかと考え、さらにOPAMを設計した坂茂さんの建物に対して、どう示すかということも考えました。美術館の床は475mmの拵目に

# 140年、猫と巡る

## そして現在

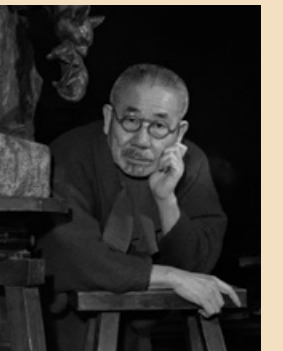


《よく獲たり》(1946年) 大分県立美術館蔵

朝倉文夫 生誕一四〇周年記念

会期 6/9(金)~8/15(火) 会場 大分県立美術館 1階 展示室A・アトリウム

右から／塩塚隆生(建築家・塩塚隆生アトリエ代表)、古庄恵子(塩塚隆生アトリエパートナー)、ザ・キャビンカンパニー吉岡紗希(絵本作家／美術家)、安部泰輔(美術家)、ザ・キャビンカンパニー阿部健太郎(絵本作家／美術家)、長門敦(グラフィックデザイナー)、木ノ下結理(WEBデザイナー)、宇都宮壽(大分県立美術館学芸企画課長)



撮影：田村茂

2023年は彫刻家の朝倉文夫生誕140年にあたります。本展では、朝倉文夫の創作を振り返るとともに、大分を拠点に国内外で活動を展開する美術家 安部泰輔と絵本作家／美術家 ザ・キャビンカンパニーを迎え、朝倉の「猫」作品を軸に、彼らの視点で朝倉文夫、そして「猫」を捉え直し、顕彰、競演するものです。本展に携わるキーパーソンたちにお話をお聞きしました。



**宇都宮** 本展は朝倉文夫の生誕140年を記念し、朝倉文夫の功績を顕彰し開催するものです。本展が、今の私たちにどうして朝倉さんはどんな存在なのか、そこから学ぶことや参考にすることはないので、ろうかと考える機会になるといいなと。朝倉さんが主ではありませんが、そこに現代作家の人たちの視点を加えて組み立てられたら面白いと思います。本企画が立ち上がりました。安部泰輔さん、ザ・キャビンカンパニーさん、2組とも大分出身で、期待値以上の何かをやってくれるだろうと思いい依頼しました。あとは安部泰輔さんとの話し合いなどもふまえて、その他のメンバーが決まっていたような形ですね。

**安部** 箱の中だけで展覧会を成立させるのは、時代的にも古いかなと。これからは展覧会も外と関わりながら作品を完



**吉岡** 今回はOPAMの白い箱の中だけでは終わらない展示。展覧会では朝倉さんが生きた明治・大正・昭和の作品を順に

なっている、それを活かし、手を加えることを抑え、床からせり上がってきたかのようなデザインにしています。

**古庄** どれだけ考えたかという思考だけが最終的に形になるのが、展覧会のための建築家の仕事としては大事なかなと。本展は「猫」の作品が中心となりますが、猫は自由気ままに歩いていきます。そんな視点で人間も自由に展覧会を楽しんでもらえたらと。美術館の空間ではあるのですが、街や公園で見られるような自由度を持たせ、新たな視点で朝倉さんの作品を見せていく。様々な表現方法を考えていく中で、抽象化し、要素をそぎ落とす、いき、結果台座を上下させることで、その自由さが十分表現できると考えました。



**長門** 地元で小さい頃から身近な存在だった朝倉文夫の展示にグラフィックデザイナーとして携われることはとてもうれ



い展示になるだろうなと、とてもワクワクしました。

**木ノ下** 私の役割としてはWEBを使つての広報となります。広報という枠を超えて、作り手側からの発信もしたいと考えています。今まで美術館に来たことのない

### 朝倉文夫 生誕140周年記念 猫と巡る140年、そして現在

開催時間：10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)  
観覧料：一般1400(1200)円、高校・大学生1000(800)円※( )内は有料入場20名以上の団体料金※中学生以下無料  
お問合せ：大分県立美術館  
Tel.097-533-4500